

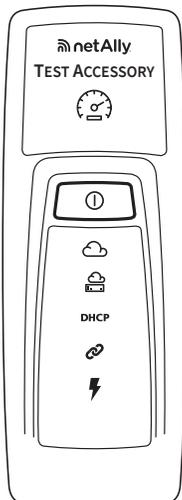
netAlly

TEST ACCESSORY

ユーザー・ガイド

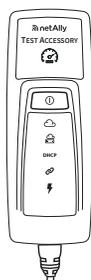
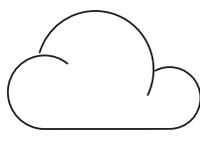
Test Accessory は、Ethernet リンク接続テストを実行し、他の NetAlly ハンドヘルド・ネットワーク・テスターと連動して iPerf3 パフォーマンス・テストを実行します。

このユーザー・ガイドでは、Test Accessory の接続と設定の基本について説明します。iPerf テストの実行および結果の表示に関する情報については、主なテストツールのユーザーマニュアルを参照してください。



しくみ

Test Accessory は、EtherScope nXG、AirCheck G2、LinkRunner G2、または標準 iPerf3 クライアントなどの NetAlly ハンドヘルド・ネットワーク・テスターで実行する iPerf テスト用の iPerf サーバーとして機能します。



NetAlly Test Accessory

NetAlly ハンドヘルドネットワークテスター

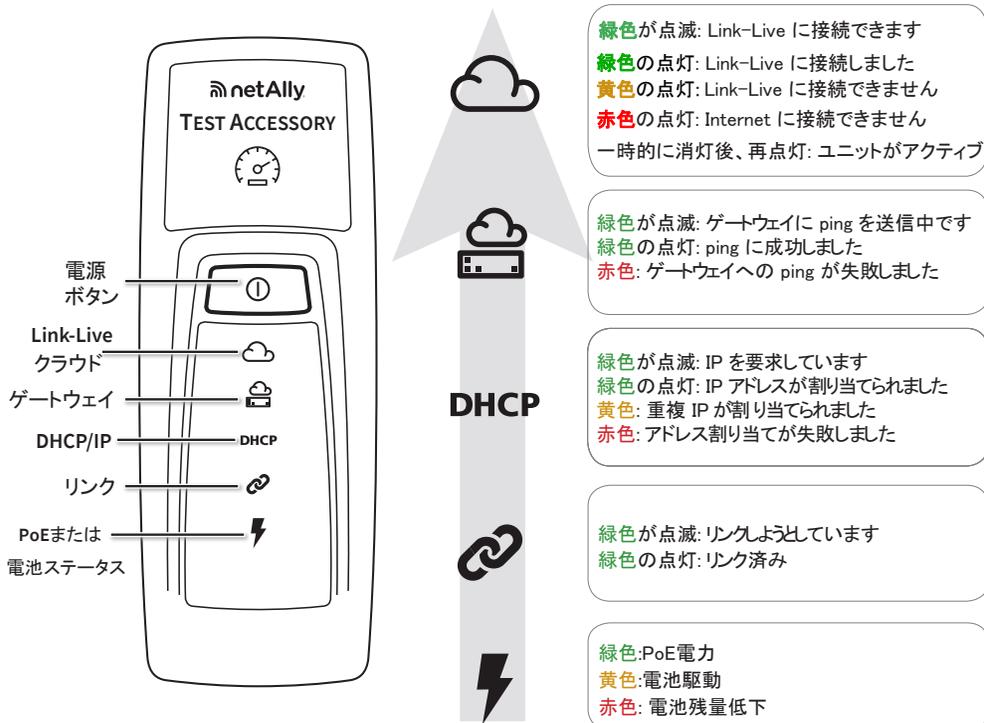
電源のオン

Test Accessory は、Power over Ethernet (PoE) または以下の単三電池のいずれかを使用して動作します。アルカリ電池（製品に同梱）、充電式ニッケル水素電池、またはリチウム電池。

1. 単三電池2本を Test Accessory の背面に挿入します。
 2. インターネットにアクセスできるアクティブなネットワークにイーサネットケーブルが接続されていることを確認します。
 3. ネットワーク接続で PoE が利用可能な場合、本機は自動的に起動します。電池のみを使用している場合は、電源ボタンを2秒間長押しして電源を入れます。
 4. Test Accessory の電源を入れるとすぐに、ユニットが起動する間、すべての LED シンボルが15秒間黄色に点灯します。その後、Test Accessory はネットワークへの接続を試み、対応する接続ステップで各 LED を点灯させます。
- NOTE: Link-Live に接続すると、Test Accessory は自動的に最新のソフトウェアに更新される場合があります。詳細については、2 ページの「ソフトウェア・アップデート LED シーケンス」を参照してください。

接続のシーケンスと LED マーク

接続ステータスは、Test Accessory の LED マークによって示されます。



Link-Live クラウド・サービス

Link-Live Cloud Service は、テスト結果を表示、整理、報告するための無料のオンライン・システムです。Link-Live の Test Accessory を要求すると、iPerf クライアントテストデバイスからの検出を支援、ソフトウェア・アップデートをダウンロードし、接続テスト結果を表示することができます。

NOTE: iPerf クライアントデバイスから Link-Live を使用して Test Accessory を検出するには、NetAlly テスターを同じ組織に要求し、設定を適切に行う必要があります。iPerf クライアントデバイスのユーザーガイドを参照してください。Link-Live.com でユーザーアカウントを作成します。指示に従ってアカウントを有効化し、サインインします。

Link-Live への要求

初めて Link-Live にサインインすると、デバイスを要求するためのポップアップウィンドウが表示されます。表示されない場合は、左側のナビゲーションメニューから「装置」ページに移動し右下にある装置の要求ボタンをクリックします。

画面に表示される指示に従ってをクリックします。

NOTE: Test Accessory は、電源を入れてから5分以内に要求する必要があります。

接続テスト結果の表示

Test Accessory の電源を入れて Link-Live に接続すると、装置が要求されている組織の Link-Live 結果ページに以下の接続テスト結果が表示されます:

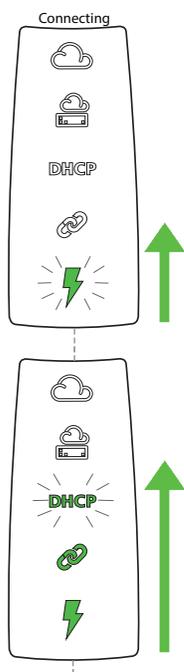
- Test Accessory の MAC とファームウェアのバージョン
- PoE 電圧
- リンク速度とデュプレックス
- IP アドレスと構成 (DHCP/スタティック)
- DNS サーバーのアドレス
- ゲートウェイ Ping 時間
- WWW Ping 時間

同じ結果が、Link-Live の「装置」ページからの通知用に設定されたメールアドレスにも送信されます。WWW Ping テストの送信先を変更するには (デフォルトは Google.com)、Link-Live に表示される Test Accessory の IP アドレスを使用して、Web ブラウザーで Web サーバーインターフェイスを開きます。Web サーバーインターフェイスの説明については、このガイドの 2 ページを参照してください。

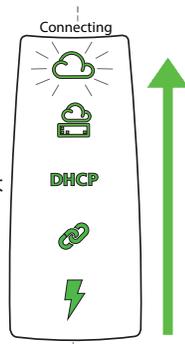
LED の状態の詳細

接続時の LED シーケンス

- 1) 装置が PoE で実行されている場合、電源ライト (稲妻) は緑色に点灯します。装置が電池で実行されている場合は、電源ライトは黄色のままです。電池交換が必要になると、Power ライトは赤色に変わります。
- 2) Link ステータス・ライト (つながった鎖) は、リンクが確立されるまでは緑色で点滅し、リンク確立後は緑色で点灯します。
- 3) 装置が IP アドレスを要求し、DHCP ライトが緑色に点滅します。使用可能な IP アドレスが取得されると、DHCP ライトが緑色の点灯に変わります。装置が重複 IP アドレスを取得した場合は DHCP ライトが黄色になり、IP アドレスを取得できなかった場合は赤色になります。



- 4) Test Accessory がデフォルトゲートウェイルーターと通信します。ゲートウェイとの接続が確立するまで、Gateway ステータス・ライトは緑色で点滅します。成功すると、緑色の点灯に変わります。装置がゲートウェイに接続できなかった場合、ライトは赤色に点灯します。



- 5) Test Accessory が Link-Live クラウド・サービスとの通信を試み、クラウド・ライトが緑色に点滅してインターネットの接続性を示します。

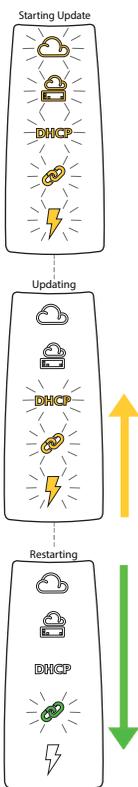
利用可能な新しいソフトウェア・バージョンがある場合、Test Accessory が自動的に更新されることがあります。

NOTE: アップデート処理中に電源を切ったり、Link-Live に Test Accessory を要求しようとしたりしないでください。アップデートが失敗することがあります。

ソフトウェア・アップデートの LED シーケンス

NOTE: アップデート処理中に電源を切ったり、Link-Live に Test Accessory を要求しようとしたりしないでください。アップデートが失敗することがあります。

- 1) まず、5 つのライトがすべて黄色に点滅します。
- 2) 次に、この装置の最下部にある PoE の稲妻から始まり、各ステータスライトが Cloud ステータス・ライトまで下から上へ順番に黄色で点滅し始めます。これは、5 つがすべて黄色で再び数秒間点滅するまで続きます。
- 3) その後、この装置が再起動します。Cloud ステータス・ライトから PoE ステータス・ライトまで順番に、各ライトが緑色に点滅します。
- 4) 最後に、Test Accessory は PoE ステータス・ライトから順番に再接続します。各ライトは、接続中は緑色に点滅します。



Web サーバー・インタフェース

Web ブラウザを開き、Test Accessory の IP アドレスを入力します。IP アドレスは Link-Live から取得するか、ハンドヘルド・テスター本体からディカバリで Test Accessory を検出することで取得できます。

Status (ステータス)

[Status (ステータス)] 画面には、Test Accessory からの最新の接続結果が表示されます。

Settings (設定)

[Settings (設定)] 画面では、テスト用に IP アドレス、ポート、プロキシのカスタム設定を行うことができます。[Apply Changes (変更の適用)] をクリックすると、新しい設定が保存されます。

Apply Changes

IP Configuration (IP の設定)

これらの設定では、スタティック IP アドレスを選択および設定できます。

iPerf Port (iPerf ポート)

このフィールドには、デフォルトの 5201 以外のポート番号を入力することができます。

NOTE: ここで設定する [iPerf Port Number (iPerf ポート番号)] は、メイン・テスターの [iPerf Setting (iPerf 設定)] のポートと一致している必要があります。

WWW Test

このフィールドは、Test Accessory によって実行される WWW Ping テストの宛先 URL を表示し、テスト用に新しいアドレスを設定することができます。デフォルトの宛先は www.google.com です。

Proxy Configuration (プロキシの設定)

このセクションでは、プロキシ・サーバの設定を行うことができます。自動プロキシまたは手動プロキシを選択する場合は、必要に応じて [Proxy Address (プロキシ・アドレス)], [Port (ポート)], [Username (ユーザー名)], および [Password (パスワード)] に入力します。

Debug Information (デバッグ情報)

このセクションには、NetAlly のテクニカルサポートが使用するトラブルシューティング情報が含まれています。

Log Files (ログ ファイル)

このボタンをクリックして、ログファイルをダウンロードします。

Log Level (ログ レベル)

この設定では、ログファイルにログを記録するイベントのしきい値を変更できます。

ドロップダウン・メニューを選択し、新しい設定を選択してログ・レベルを調整します。

デフォルト設定である [WARN (警告)] にリセットするには、[Default Log Level (デフォルトのログ・レベル)] ボタンをクリックします。

Nearest Switch Test (最も近いスイッチ・テスト)

[Nearest Switch Test (最も近いスイッチ・テスト)] ボタンをクリックすると、Test Accessory によって最も近いスイッチが識別され、その特性が下に表示されます。

Language (言語)

このメニュー項目を選択すると、ドロップダウン・リストから他の言語を選択できます。

工場出荷時のデフォルトへのリセット

注意: Test Accessory を工場出荷時のデフォルトにリセットすると、すべてのパフォーマンス・データと設定データが消去され、Test Accessory が Link-Live から要求解除されます。

- 1) 装置の電源がオフになっていること、つまり、すべての LED がオフであることを確認します。

- 2) 約 30 秒間電源ボタンを押し続けます。

この装置がリセットされると、まず、5 つのステータス・ライトがすべて約 15 秒間黄色で点灯します。次に、LED がクラウド・ライトまで下から上に順番にもう 15 秒間緑色に点滅し、最後に LED がすべて同時に緑色で点滅します。

- 3) ライトが同時に緑色で点滅したらすぐ、赤色で点滅する前に、電源ボタンを放します。

LED が赤色で点滅する前に電源ボタンを放さなかった場合は、LED が黄色に変わり、リセットが失敗したことが示されます。この場合、リセット手順をやり直す必要があります。リセットが成功した場合、Test Accessory はシャットダウンし、電源がオフになります。

装置の電源を切る

この装置をオフにするには、LED が下へと順に点滅し始めるまで 2 秒間電源ボタンを押してから、ボタンを放します。

LED が点滅しなくなったら、シャットダウンが完了するまで Power/PoE の記号が約 15 秒間オンのままになります。

環境および規制仕様

環境	
動作温度	0°C ~ 50°C
相対湿度	5%~90%、結露なし
保管温度	-20°C ~ 60°C
衝撃および振動	ランダム 2 g, 5 Hz ~ 500 Hz (クラス 2)、1 m 落下テスト
安全性	AN/CSA-C22.2 No. 61010-1-1-12, UL Std.No. 61010-1 (第 3 版)、IEC 61010-1:2010、汚染度 2s
作動高度	4,000 m
保管高度	12,000 m
EMC	EN 61326-1:2006
一般	
寸法	11.07 cm x 4.06 cm x 3.25 cm
重量	0.116 kg
電池	単 3 アルカリ電池 x 2

法的通知

本製品の使用は、<http://NetAlly.com/terms-and-conditions> で参照可能な、または出荷時に本製品に付属するエンド ユーザー ライセンス契約、あるいは該当する場合は、NetAlly と本製品の購入者との間で締結される法的契約(以下「本契約」)に準拠するものとします。

オープン ソース ソフトウェアに関する認識: 本製品には、GNU 一般公衆利用許諾契約書(以下「GPL」)または GPL ライセンスと互換性のあるライセンス(以下「GPL 互換ライセンス」)によって管理されるオープンソースのコンポーネントが組み込まれている場合があります。NetAlly は、本製品のオープン ソース コードコンポーネントがある場合、Link-Live.com/OpenSource で利用できるようにしています。

NetAlly は、その技術情報、仕様、サービス、サポートプログラムを独自の判断で随時変更する権利を有します。